シンポジウム

百間樋門の再生から見えてきたもの

～ 文化財としての水俣病関連遺構(跡)を地域の力に ～



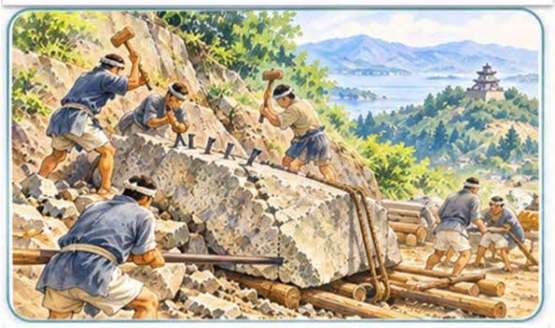
現在の百間排水口樋門（糸長浩司撮影）



1969年頃の百間排水口（野崎正寛さん撮影 水俣病資料館提供）



建設中の入浜式塩田の樋門（絵：糸長浩司＋チャットGPT）



石切り場での作業風景（絵：糸長浩司＋チャットGPT）



水俣城の石垣（水俣市教育委員会「水俣城跡」より）



水俣城東側の石垣のノミ跡(東福寺横)（山下善寛撮影）

2026年11月28日（土）　13:00～16:00

水俣市公民館ホール　　参加無料

オンライン参加のお申し込み(11月20日締切)
右のQRコード からお申し込みく ださい。
※ 会場参加の方は、事前申し込み不要です。

パネリスト

加藤タケ子(きぼう・未来・水俣)
山下善寛(元チッソ労働者)
糸長浩司(元日本大学教授)
野澤淳史(東京経済大学准教授)
矢野治世美(熊本学園大学准教授)

主催：水俣の歴史的遺構(跡)を残す会　　連絡先：090-7156-2298(加藤)